

## 目標達成計画

作成日: 平成 21年 12月 6日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	新人職員が多く「新しい風を入れてほしい。」と願っているが、ミーティングで意見や要望を期待しているがなかなか出てこない。受け入れる体制はできている。ミーティングで話し合ったことも会議録として残していない。	ミーティングで話し合ったことは会議録(日付・参加者・議題・内容等の記述として残し、それぞれ職員は役割を持ちながら、スキルアップ・運営に取り組むようにしていく。	毎朝のミーティングで話し合ったことの会議録を残し職員しそれぞれが意見を言えるようになり、スキルアップや運営に取り組むように意識付けし、職員一丸となれるように取り組みたい。	3ヶ月
2	6	1名の利用者の薬による身体拘束を行っているが身体拘束排除の為の取り組みに関するマニュアル等の作成が曖昧で身体拘束に伴う日々の経過記録と会議録を記述しておらず定期的な見直しも行っていない。	身体拘束排除の為のマニュアル等を作成し、定期的に見直しを行い、会議録を作成し経過が解るようにしていく。	まずマニュアル等を作成し、ミーティングで話し合い定期的に見直しをしていくように意識付け、会議録作成により経過が誰が見てもわかるようにして行きたい。	3ヶ月
3	1	現在の掲げている「運営理念」は、会社が作成しているもので長たらく覚えにくい文面である。新人職員も多く、もっと簡単に覚えやすいものにしたい。	現在の「運営理念」をもっと簡単に解りやすく覚えやすいものに替え、掲示する。	事業所の思いと利用者職員が共に暮らすための生活の目標の両面から考え、実践していく理念を職員全員で話し合い、文言や掲示を行うようにしたい。	5ヶ月
4	40	日頃より言葉遣いに対する教育を行っているがつつい口調がきつくなる時があり利用者の尊重やプライバシーを考えた時に疑問を覚えることがある。	利用者のプライドに細心の注意を払い、特に言葉遣いに気をつけプライバシーや個人情報保護に関する方針を職員に意識付けし、職員チェックリストを作成し職員による自己評価を実施し教育の一環として活用していく。	利用者及びその家族の個人情報の利用目的や個人情報の保護に関する方針の掲示を行い、プライドやプライバシーの確保の点から考えられる項目を考えチェックリストを作成し職員による自己評価を実施し教育の一環として活用していきたい。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。